月　　日（　）企画提案

平和教育担当（1年　　・2年　　・３年　　）

令和　年度　　　中学校平和学習（案）

１　ねらい

　　沖縄戦の事実を知り、戦没者への追悼の意を捧げ、命の大切さや平和を尊ぶ心の育成を図る。

２　方　針

　　　慰霊の日を迎える６月を平和月間に位置付けるとともに、「平和」を統一テーマに各学年の発達段階を

踏まえた計画を実施する。

３　活動内容

　　**（１）各学年での総合的な学習の時間を活用した学習。6月28日（金）実施**

　　　　※各学年、学年主任を中心に平和担当と協力して活動計画を行う。

　　　　　１学年：　西原の塔など町内の戦跡をめぐるフィールドワークを実施。

　　　　　２学年：　浦添城跡近隣の戦跡地、JICA沖縄センターの見学を行う。

３学年：　ひめゆり平和祈念資料館や平和の礎などの見学を行う。

　　**（２）平和の礎刻銘者の名前を読み上げ、追悼を行う。**

　　　　 ※「沖縄『平和の礎』名前を読み上げる実行委員会」と企画内容を協議し、

　　　　　　連携して活動計画を行う。

１学年：６月　　日（　）　　校時（　：　　～　　：　　）

２学年：６月　　日（　）　　校時（　：　　～　　：　　）

３学年：６月　　日（　）　　校時（　：　　～　　：　　）

①60分で1,000人の名前の読み上げを想定している。（実行委員会）

②　　　　　町内の礎刻銘者は　　　　　　人。所要時間　　　分

 ③全校生徒・職員　　　人（欠席者を除く）で、一人当たり　　人の名前を読み　　　　　上げる。フリガナがない（事前調査必要）※名前に「さん」をつける。：R4年

　　　　　④全員を読み上げるのに　　時間　　分必要。内訳（　　分＋　　分＋　　分）　　　分

　　　　　⑤休み時間も継続して行う。

役割分担

①渉外　　（　　　）　　　　　　　　　②機器の設置（各学年ICT担当）

③壁面・NGの生徒の顔隠し（　　　）　④資料作成　（　　　）

⑤取材依頼　（　　　）　　　　　　　　⑥学年の調整・役割分担等（　　　）

⑦BGM　　（各学年）※BGMがあったほうが雰囲気作りにはよいが、ユーチューブではノイズになる

具体案

１、活動計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 6月6日 | 月 | 係り会議（　　・　　・　　・　　）17時　＠会議室　※名簿の確認（分担） |
| 6月７日 |  | 生徒実行委員会（中央委員会）16時15分　＠3年4組 |
| 6月8日 |  | 朝の会→学級生徒へ告知　※参加できない人の確認放課後→担当分担作業 |
| ６月9日 |  | 朝の会→分担を伝える（練習）・当日の流れの説明中央委員会→流れのリハーサル |
|  |  | 学活　リハーサル |
| ６月１３日 |  | 職員会議後　会場設営 |
| ６月14日 |  | ２学年実施 １３：３０～１６：００ |
| 6月15日 |  | １学年実施 １３：３０～１６：００ |
| ６月１６日 |  | ３学年実施 １３：３０～１６：００ |

２、当日　タイムスケジュール

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 開　始 | 終了 | 活　　動 | 準備・待機（視聴覚室前） | 担当職員 |
| １３：１０ | １３：２０ | 機器準備・会場説明 |  |  |
| １３：２０ | １３：３０ | ZOOM接続・生徒①会場入り |  |  |
| １３：３０ | １３：５５ | 読み上げ① | 生徒② |  |
| １３：５５ | １４：２０ | 読み上げ② | 生徒③ |  |
| １４：２０ | １４：４５ | 読み上げ③ | 生徒④ |  |
| １４：４５ | １５：１０ | 読み上げ④ | 生徒⑤ |  |
| １５：１０ | １５：３５ | 読み上げ⑤ | 生徒⑥ |  |
| １５：３５ | １６：００ | 読み上げ⑥ |  |  |
| １６：００ |  | 片付け・準備 |  |  |

３、会場図

|  |  |
| --- | --- |
| ★ | 担任（学級の誘導） |
| ① | 待機中の生徒の管理次のクラスの呼びかけ |
| ② | スムーズに進ませるおしゃべりさせない。 |
| ③ | 画面共有のENTERキーを押す。（音声はOFF）生徒のタイミングと時間配分 |
| ④ | 静かに退出させる |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　４、職員役割分担

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　★

　　　　　　　　④

　　　　　　　　　　　　③

PC

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②

実際の分担

（１）６月１４日(火)　２年生（６クラス　１９０人）

 ２０００÷１９０＝１１人

55228　1　翁長加眞　オナガカシン　　57227　2000　城間　カメシロマカメ

 （２）６月１５日（水）１年生（６クラス　１９６人）

 ２０００÷１９６人＝１０人

57228　2001城間太郎　シロマタロウ　59227　4000　新川善輝　アラカワゼンキ

（３）６月１６日（木）３年生（６クラス　１８３人）

 ２０００÷１８３人＝１３人

59228 4001親泊和徳 オヤドマリワトク 149573 6290　比嘉次郎　ヒガジロウ

５、実施方法

（１）事前準備

　　①各学年・担任

　　　・名簿の割り振り

　・NGの生徒の確認（顔を隠すカードを美術部が作成します）

　　　・欠席者のフォロー

　　　・名簿配布

　　　・個人練習・リハーサル

②実行委員会（中央委員会）

　　　・全校生徒（各学級）での活動告知

　　　・流れの確認（リハーサル）

　　　・背面画の準備

　　　・会場の設営

（２）本番の流れ

①準備の声かけがあったら、教室から視聴覚室前まで移動する。

②外で、順番（番号）で整列して待つ。※シューズを脱がない。

③入室の声がかかったら、静かに入る。※「失礼します」言わない。

④壁際に並んで順番を待つ。※私語禁止

⑤前の人とタイミングを合わせてスムーズにPCの前に立つ。※座らない。

⑥自分の分担の「お名前」を「さん」付けで読み上げる。

　※大きな声で、心を込めて読み上げる。

　　　※担当は「共有画面」の「エクセル」をタイミングよくEnterしていく。

⑦呼名が終わったら、静かに視聴覚室から出て、教室に戻る。

⑧教室では、YouTubeでライブ放送を見ながら、千羽鶴を折る。（事前・事後）

　　　※折り紙は生徒会より、鶴は３０羽を１本にして、各クラス２本作成する。

（３）６月７日朝　学級への声かけ（案）　　中央委員会

皆さんは、糸満市摩文仁の平和祈念公園にある「平和の礎（いしじ）」を知っていますか？

この平和の礎は「世界の恒久平和を願い、悲惨な戦争体験を継承するために、戦後50周年にあたる1995年に建てられました。

このような石碑は全世界にありますが、この「平和の礎」の特徴は、沖縄戦などで亡くなられた方が、敵・味方関係なく、軍人や民間人の区別もなく全ての方のお名前が刻銘（こくめい）されているところです。日本軍も、日本軍としてではなく、その方の出身地で刻銘されています。現在24万人あまり名前が刻銘されていますが、毎年、新たな戦没者が判明された場合にはさらに追加されていきます。今年も５５人の追加刻銘がありました。

現在、合計２４万１６８６人の戦争で亡くなった方の名前が刻銘されているそうです。

今回、西原中学校平和学習委員会では、「戦争で亡くなった方への追悼の意を表し、御霊を慰めるとともに、今日、平和を享受できる幸せと平和の尊さを再確認し、世界の恒久平和を祈念するため、戦争で亡くなった平和の礎に刻銘されている人々のお名前を読み上げるプロジェクト」に参加することになりました。

沖縄戦により亡くなった、当時の西原村民は６２９０人もいらっしゃいます。

激戦地であったここ西原では、住民の約半数４７％の方が亡くなり、翁長地区では全世帯の38％にあたる71世帯が一家全滅、つまり、誰も生き残っていない家庭があるのです。

戦後、こうした、名前が分からない方の調査をしながら、出来るだけの情報を集めて刻銘していますので、中には「○○の長男」や「○○の母」という名前もあります。

その「名前の無い名前」を目の前にしたとき、戦争の残虐さを感じさせます。

私達は、今現在の平和な日常が、悲惨な歴史の上にあることを認識し、戦争に巻き込まれ亡くなってしまった方々の無念の思いを受けついでいくために、今回、平和への誓いと共に、この、忌まわしい沖縄戦によって亡くなられた一人一人のお名前を、全校生徒によるリレー方式で読み上げたいと思います。

１年生は　６月１５日、２年生は６月１４日、３年生は６月１６日に行います。

私達クラスは、6月　　　日の　　　時間目ごろを予定しています。

一人あたり（　　　）の名前を分担してもらいます。あとで、用紙を配布しますので各自で読み方を確認してください。

注意ですが、くれぐれも「亡くなった方の一人一人のお名前」であることを認識してください。昔の名前なので、なじみがない名前がほとんどだと思いますが、失礼な行為がないように注意して下さい。その名前、一人一人の人生があった。その人生が戦争によって奪われたということを忘れてはいけません。

当日は視聴覚室でＺＯＯＭを使ってYouTubeにライブ配信されます。パソコンの画面にはなくなった方の名前や詳しい状況が出ます。その画面に名前を読み上げている人の顔も小さく写るので、それがどうしても難しい人は担任の先生に相談してください。

自分達のクラスの順番になるまでは、教室で千羽鶴を折って待機します。

（４）ライブ配信の学級の最初のシナリオ

「私たちは、○○中学校　　年　　組です。

これから、沖縄戦で亡くなられて、沖縄平和の礎に刻銘されている　　　　　人のお名前を3日間に分けて読み上げさせてもらいます。

私たちは、

という気持ちを込めて、リレー方式で読み上げます。

（５）ライブ配信の最後に伝えるシナリオ

「私たち、○○中学校　　年生が今日お名前を読み上げさせてもらったのは、沖縄戦で亡くなられて、平和の礎に刻銘されている　　　人のうちの000人でした。明日は（　　年生）が同じ時間帯に読み上げさせてもらいます。

ラスト○年生（感想などを含めて、平和メッセージを伝えよう。